

** 2020年10月（第4版）
* 2017年2月（第3版）

医療機器届出番号：26B1X10002000039

機械器具 76 医療用吸入器
一般医療機器 超音波ネブライザ 12719000

オムロン 超音波式ネブライザ NE-U780

【警告】

- ・薬液の種類、用量、用法については、必ず専門の医師の指導に従ってください。〔症状悪化の原因になります。〕
- ・霧化セット、耐熱吸気ホース、マウスピース、吸入マスクは、使用ごとに毎回洗浄、消毒してください。〔雑菌の繁殖による症状悪化、正常に噴霧しなくなることによる症状悪化、古い薬液が混ざることによる症状悪化の原因になります。〕
- ・複数の人に使用する場合、霧化セット、耐熱吸気ホース、マウスピース、吸入マスクは吸入する人ごとに洗浄、消毒してください。〔感染の原因になります。〕

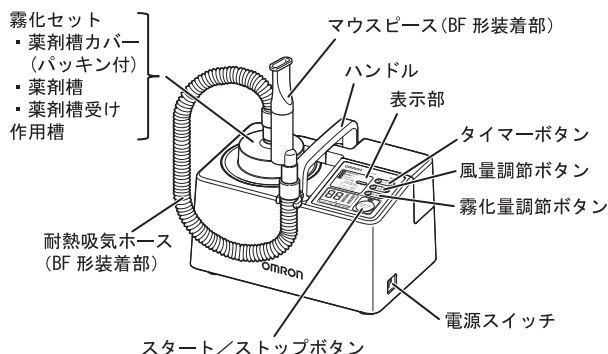
【禁忌・禁止】

- ・意識がない患者または自発呼吸下でない患者に使用しないでください。〔事故の原因になります。〕
- ・可燃性ガス雰囲気内で使用しないでください。〔火災の原因になります。〕
- ・自動呼吸装置に本製品を接続しないでください。〔呼吸装置からの圧力が噴霧部を通して低下し、呼吸装置がエラーとなる恐れや、人工呼吸器（麻酔器に組み込まれたものを含む）の呼吸回路呼吸器側にフィルタを装着し、本製品を使用すると、フィルタが目詰まりをおこし、患者が呼吸困難を起こす可能性があります。〕
- ・水の吸入はしないでください。〔症状悪化の原因になります。〕

*【形状・構造及び原理等】

* 1. 主要部の形状と名称

外観図



2. 仕様

本体寸法：幅 約295 × 高さ 約219 × 奥行き 約196mm

質量：約2.5kg（本体のみ）

* 3. 電氣的定格、保護の分類及び保護の形状

定格電源：AC100-240V 50/60Hz

消費電力：65-85VA

電撃に対する保護の形式による分類：クラスⅠ機器

電撃に対する保護の程度による装着部の分類：BF形装着部

4. 構成〔材質〕

個数

本体	1 台
作用槽	1 個
薬剤槽カバー（パッキン付）	
〔ポリメチルペンテン／シリコンゴム〕	1 個
薬剤槽受け〔ポリプロピレン樹脂〕	1 個
薬剤槽〔ポリプロピレン樹脂〕	2 個
耐熱吸気ホースM（70cm）カフス付〔熱可塑性エラストマー〕	1 本
マウスピース〔ポリプロピレン樹脂〕	1 個
吸入マスク（大）〔熱可塑性エラストマー／ゴム〕	1 個
専用電源コード	1 本
取扱説明書（品質保証書付き）	1 冊
クイックガイドシール	1 枚
医療機器添付文書（本書）	1 部

5. 動作原理

超音波振動エネルギーを作用槽底部の振動子から作用水に伝え、薬剤槽内の薬液に伝えます。薬剤槽内の薬液は、超音波の振動作用で霧状に飛散します。霧化された薬液はファンから送られてきた風とともに外部に噴霧されます。

** 6. 性能及び安全性に関する規格

(1) 超音波発振周波数：約1.63MHz

(2) 送風量：最大17L/分

(3) 作用槽適正水量：約450mL

(4) 噴霧能力：3mL/分（風量10、霧化量10設定時）
0.5mL/分（風量1、霧化量1設定時）

26℃の生理食塩水30mLを、室温23℃、作用槽の水
温26℃で耐熱吸気ホースMのみ接続した状態で測
定した社内データの代表値

※薬液種類、使用する付属品、吸入される患者
様の呼吸動作によって変化します。

※ノーズピース使用時は噴霧能力が低下します。

(5) 噴霧粒子径：MMAD 約6.0 μm（EN13544-1に準拠）

NaF水溶液30mLを用いて測定した社内データ
の代表値

(6) 薬剤槽容量：最大150mL

(7) 噴霧可能容量：10～150mL（小容量霧化アダプタ使用時2～12mL）

(8) 安全装置：過電流保護装置；過電流時に電源を断つ
過昇温度防止装置；トランス内部の温度過昇時
に電源を断つ

取扱説明書を必ずご参照下さい。

【使用目的又は効果】

本製品は呼吸器疾患の吸入療法に使用することを目的としています。

【使用方法等】

ご使用にあたっては、取扱説明書をよくお読みになってご使用ください。

1. 作用槽に水を入れる

- (1) 作用槽ハンドルをしっかり持ち、上方向に持ち上げて作用槽を取り外します。
- (2) 薬剤槽受けの凸部に指をかけ、霧化セットを取り外します。
- (3) 作用槽に水（水道水）を入れます。最大水位を超えないように、適正水位の範囲に水を入れてください。

2. 薬剤槽に薬液を入れる

- (1) 霧化セットの薬剤槽カバーを反時計回りに回して外します。薬剤槽に破損や穴のないことを確認してください。
- (2) 薬剤槽に薬液を入れます。
薬液が少量（12mL以下）の場合は別売の小容量霧化アダプタを使用すると薬液の残液が少なくなります。少量の薬液を効率よく霧化させるために霧化量「6」、風量「10」での調節をお勧めします。
- (3) 薬剤槽カバーの▽と薬剤槽受けの△を合わせてはめ込み、ロックマークの位置まで時計回りに回して固定します。
- (4) 霧化セットを作用槽に取り付けます。

3. 本体を組み立てる

- (1) 作用槽を本体に固定します。
- (2) 耐熱吸気ホース、マウスピースまたは吸入マスクなどを取り付けます。
- (3) 電源スイッチが「OFF」になっていることを確認し、電源コードを本体とコンセントに接続します。
- (4) 電源スイッチを「ON」にします。エラー表示部の「エラー報知LED」が全点灯し、その後消灯することを確認します。
- (5) 吸入の準備が完了しました。

4. 吸入時間を設定する

- (1) タイマーボタンを押して、吸入時間を設定します。
- (2) 連続使用するとき、タイマーボタンで「連続」に設定します。

5. 風量と霧化量を設定する

6. スタート／ストップボタンを押す

噴霧を開始します。

7. 吸入する

8. 終了する

- (1) タイマーを使用していたとき、タイマー終了時間をブザー音でお知らせし、運転を停止します。
- (2) タイマー使用中に吸入を中止したいとき、スタート／ストップボタンを押して運転を中止します。
- (3) 連続運転中に中断したいとき、スタート／ストップボタンを押して運転を中止します。
- (4) 吸入が終わったら電源スイッチを「OFF」にして、電源コードを抜きます。

【使用上の注意】

- ・耐熱吸気ホースに薬液がたまっていないことを確認してください。霧化量が低下し、症状悪化の原因になります。
- ・使用直前に毎回新しい水を作用槽へ入れてください。雑菌が繁殖し、感染する恐れや、振動子が汚れ霧化機能の低下の原因になります。
- ・本体接点、作用槽接点に汚れがないことを確認してください。正常に噴霧せず症状悪化の原因になります。
- ・エアフィルタが正しく取り付けられているかを確認してください。ちりやほこりを吸い込み、症状悪化の原因になります。
- ・薬剤槽を空のままで動作させないでください。発熱や故障の原因になります。
- ・薬液は150mL以上入れないでください。正常に噴霧せず症状悪化の原因になります。
- ・作用槽の外側がぬれた状態で本体に固定しないでください。正常に噴霧せず症状悪化の原因になります。
- ・使用中、毛布やタオルなどで本体を覆わないでください。発熱や感電、故障の原因になります。

*【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

次のような環境に保管してください。

温度：-20～+60℃

湿度：10～95%RH

* 2. 耐用期間

26℃の生理食塩水30mLを、室温23℃、作用槽の水温26℃で1日18回各10分間噴霧するという条件で以下のとおりです。

使用環境によって変化し、使用頻度により耐用期間が短くなることがあります。（当社データによる自己認証）

本体：5年〔自己認証（当社データ）による〕

作用槽：5年

専用電源コード：5年

薬剤槽カバー（パッキン付）：1年

薬剤槽受け：1年

耐熱吸気ホースM（70cm）カフス付：1年

マウスピース：1年

吸入マスク（大）：1年

薬剤槽：6ヵ月

【保守・点検に係る事項】

1. 常に使用前後の点検を励行し、異常が認められたときには、お客様サービスセンターにお問い合わせください。
2. 使用後は、作用槽、霧化セット、耐熱吸気ホース、マウスピース、吸入マスクなどを洗浄、消毒し、速やかに乾燥させて、ちりやほこりが入らないように清潔に保管してください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：オムロンヘルスケア株式会社

電話：0120-84-6606

取扱説明書を必ずご参照下さい。